茨木市道路位置指定基準

（目的）

第１　この基準は、建築基準法（昭和25年法律第201号。以下「法」という。）第42条第１項第５号の規定に基づく道路の位置の指定について、その具体的な基準を定めることにより良好な市街地の形成を確保することを目的とする。

（道路の配置、設計の原則）

第２　位置の指定を受けようとする道路（以下「指定道路」という。）は、茨木市細街路整備計画に整合し、かつ、周辺の土地利用状況を勘案して、環境の保全及び災害の防止に配慮するとともに、通行の安全上支障がないような規模並びに構造で適切に配置しなければならない。

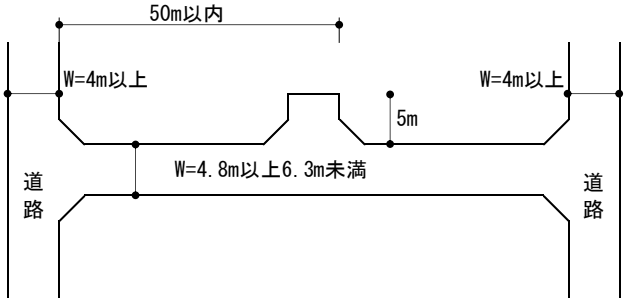
２　指定道路の設計に当たっては、その道路に接して敷地となる区域の規模、形状、地形、地盤の性質及び周辺の土地利用状況を勘案するとともに、予定建築物の用途及び公共・公益施設の整備計画について、関係法令及び茨木市開発行為等の手続等に関する条例（令和６年茨木市条例第22号。以下「手続条例」という。）に基づく基準に適合させるほか、この基準に適合しなければならない。

（指定道路の接続）

第３　指定道路は、その両端を他の道路に接続しなければならないものとする。ただし、幅員1.8m未満の道路については、茨木市細街路整備計画等において拡幅の予定のあるものに限り他の道路とみなすことができる。

（通り抜け道路）

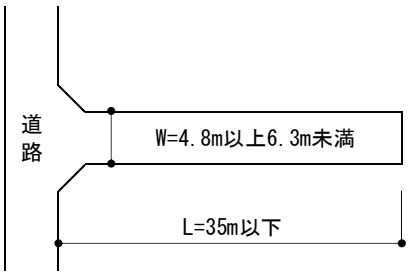
第４　指定道路は、その両端（第13に定める場合は除く。）を幅員４m以上の道路に接続し、かつ、指定道路の幅員が4.8m以上6.3m未満のものについては、区間50m以内ごとに自動車用回転広場を設けなければならない。



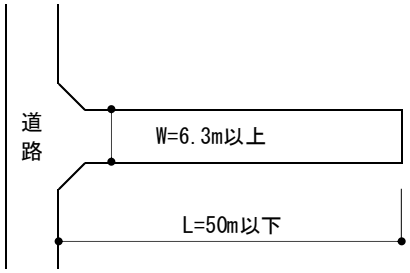
（袋路状道路）

第５　指定道路が次の各号の一に該当する場合又はこれらに準ずる場合は、袋路状道路（その一端のみが道路に接続したものをいう。以下この基準において同じ。）とすることができる。

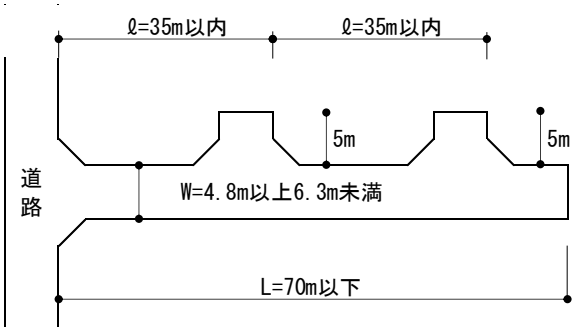
(1) 指定道路の延長が35m以下のもので幅員が4.8m以上6.3m未満のもの。

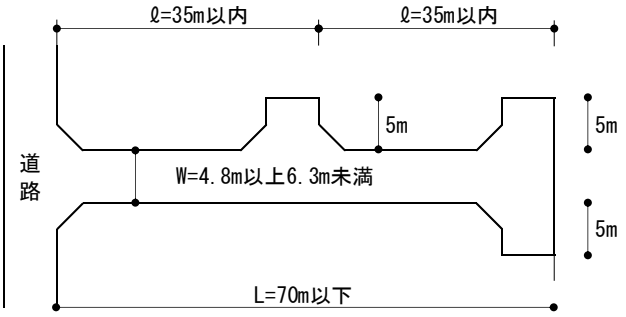


(2) 指定道路の延長が50m以下のもので幅員が6.3m以上のもの。

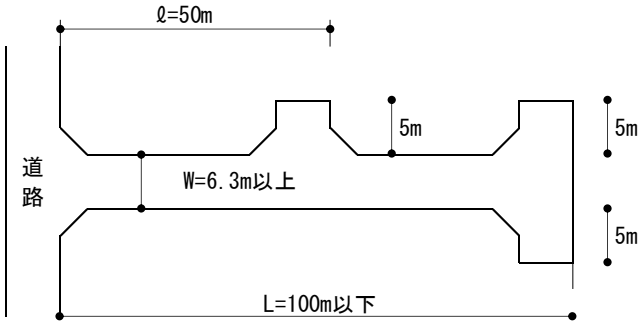


(3) 指定道路の延長が70m以下、幅員が4.8m以上6.3m未満のもので、終端及び区間35m以内ごとに自動車用回転広場を設けたもの。

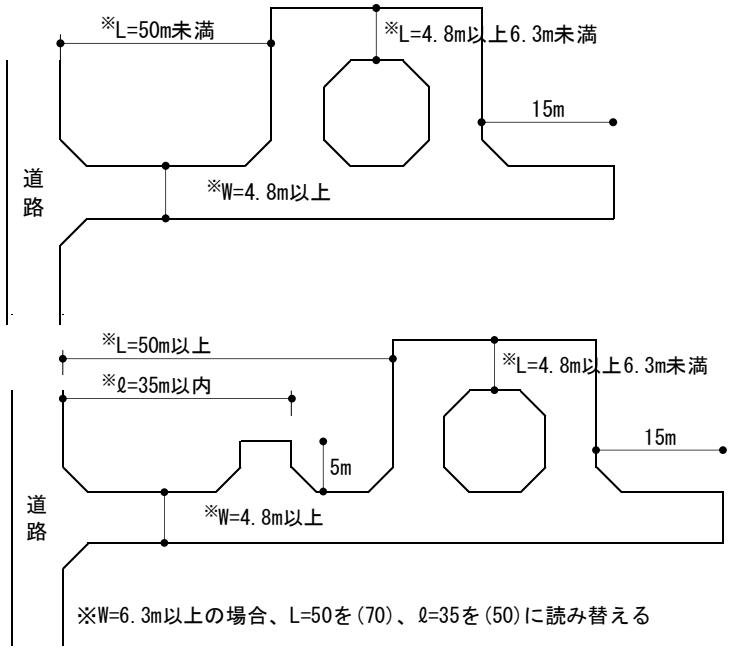




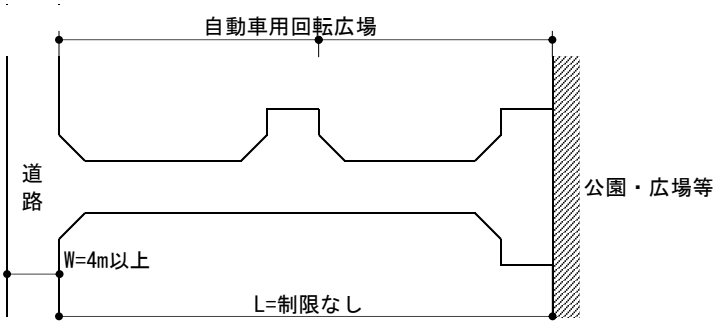
(4) 指定道路の延長が100m以下、幅員が6.3m以上のもので、中間地点付近及び終端において自動車用回転広場を設けたもの。



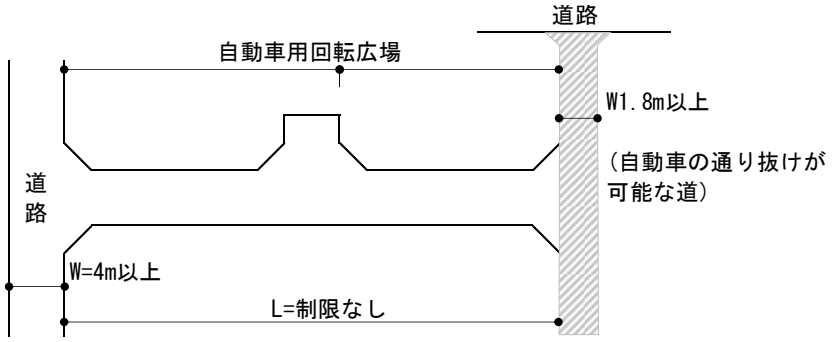
(5) 一端がロ字型（ロ字型に類似する型を含む。）となっている道路で、その他の道路からロ字型の道路に至るまでの道路の延長が50m未満のもの又は当該区間が50m以上のもので、35m以内ごとに自動車用回転広場を設けたもの。



(6) 一端が幅員４m以上の道路に接続し、かつ、他の一端が国、市又はそれに準ずる団体が管理する公園、広場、河川敷堤防等で将来にわたって緊急時の避難の安全上支障をきたすおそれのないもので、第３号及び第４号の規定に準じて自動車用回転広場を設けたもの。



(7) 一端が幅員４ｍ以上の道路に接続し、かつ、他の一端が自動車の通り抜けが可能な幅員1.8m以上の道に接続しているもので、第３号及び第４号の規定に準じて自動車用回転広場を設けたもの。

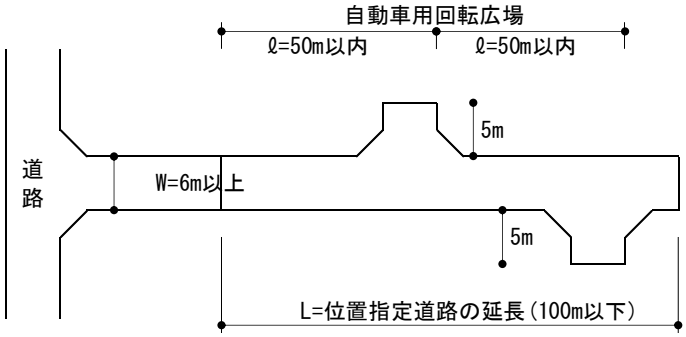


(8) 茨木市細街路整備計画に適合し、かつ、周囲の土地利用状況等避難及び通行の安全上支障がないと特に市長が認めたもの。

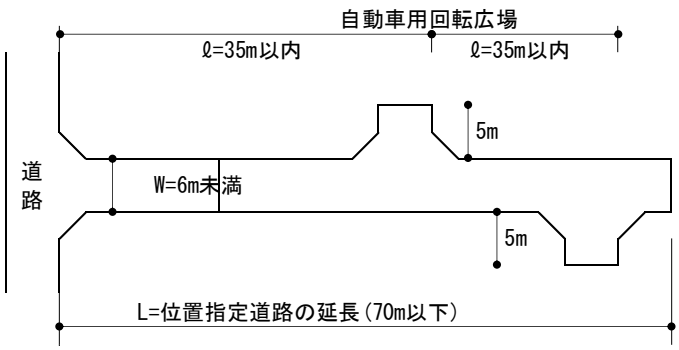
（指定道路の延長の制限の起算点の特例）

第６　指定道路が袋路状道路に接続する場合の延長及び起算点は次による。

(1) 袋路状の接続道路の幅員が６ｍ以上の場合は、指定道路の起点から算定する。



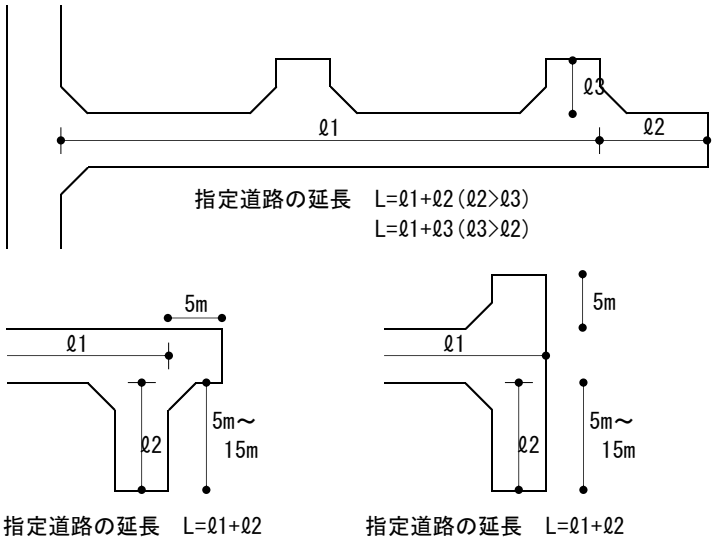
(2) 袋路状の接続道路の幅員が６ｍ未満の場合は、接続道路の起点から算定する。なお、自動車用回転広場を袋路状の接続道路内に設置する必要があるにもかかわらず、その設置が困難な場合は、周辺の土地利用状況等により、特に市長が認めたものについては、指定道路の起点付近に自動車用回転広場を設けるものとする。



（指定道路の幅員及び延長距離）

第７　指定道路の幅員は、有効４ｍ以上確保しなければならない。

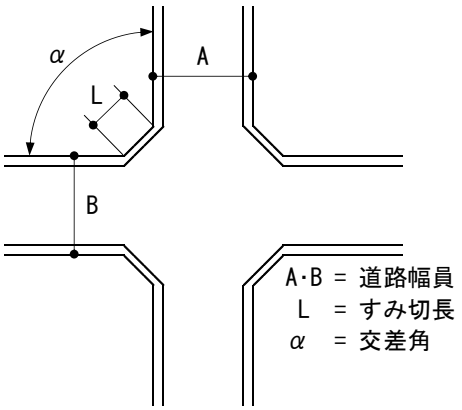
２　指定道路の延長距離の測り方は、下図に示す方法による。



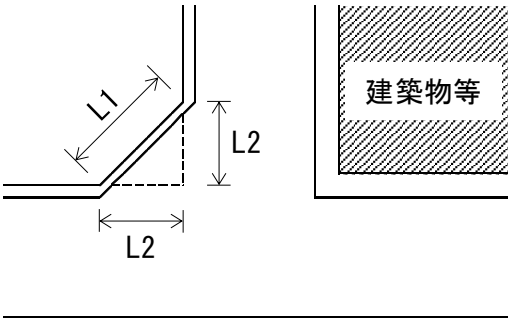
（指定道路のすみ切）

第８　指定道路が、指定道路若しくはその他の道路と交差又は屈曲する箇所には、すみ切（二等辺三角形）を設け、すみ切長は下図に示す数値を標準とする。

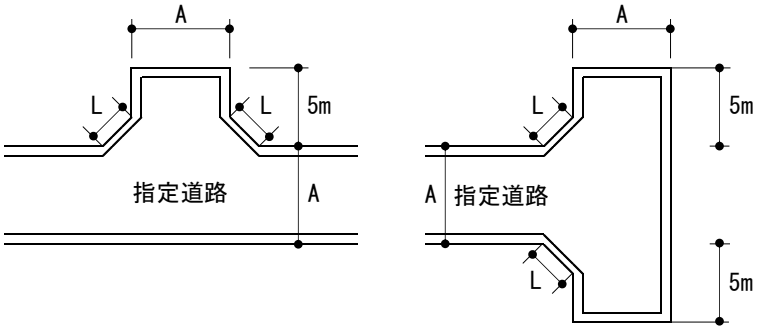
B ＼ α ＼ A		4.8	6.3
4.8	90°	3.5	4.0
	60°	3.0	3.0
	120°	5.0	5.5
6.3	90°	4.0	4.5
	60°	3.0	4.0
	120°	5.5	6.5



２　既存の建築物、工作物、擁壁又はがけ等周囲の状況により両側すみ切を設置することが困難であり、かつ、片側に下表に示す数値のすみ切長が設置される場合は、前項の規定に適合するものとみなす。

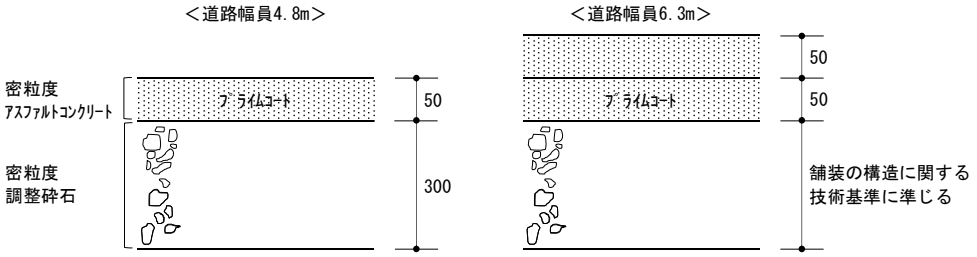
交差する道路の幅員		L1・L2	備　　考
６ｍ以上	６ｍ以上	L1=6.5m以上 L2=4.5m以上	
６ｍ以上	６ｍ未満	L1=4.5m以上 L2=3.0m以上	
６ｍ未満	６ｍ未満	L1=4.5m以上 L2=3.0m以上	

３　自動車回転広場は下図による。



（指定道路の構造）

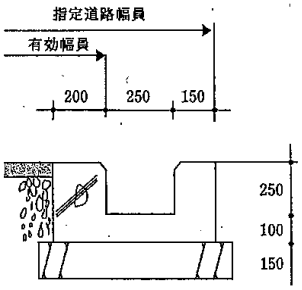
第９　道路の舗装は、原則としてアスファルトコンクリート舗装とし、舗装厚及び路盤の厚さは下図による。



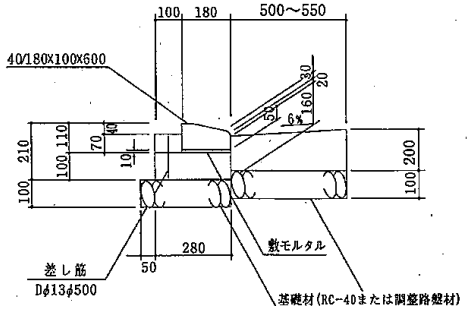
２　道路の縦断勾配は最小勾配を0.3～0.5％とし、最大勾配を９％以下とする。ただし、地形等によりやむを得ないと認められた場合には、小区間に限り12％以下とすることができる。なお、縦断勾配が７％を超える場合は、滑り止めの処置を施すものとする。

３　道路の横断勾配は、1.5～2.0％とする。

４　道路の側溝は、原則としてU型側溝現場打とする。なお、側溝勾配は、構造、断面により異なるが、最大勾配６％とし、最大勾配を超える場合は、段差工を設けなければならない。

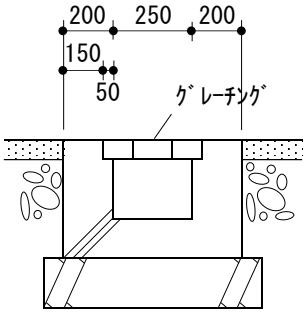


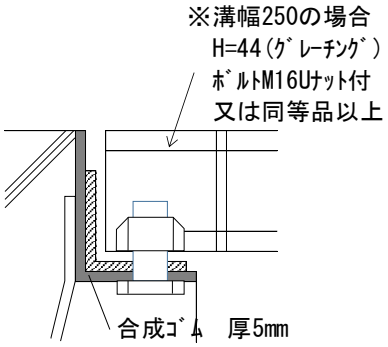
＜U型側溝＞



＜Ｌ型側溝＞

５　横断側溝に設置する蓋等は、騒音抑止用（市ネーム付)、並目（歩行者が頻繁に横断する箇所は細目）とし、荷重条件は原則として25ｔ以上とする。





（指定道路の付属工作物）

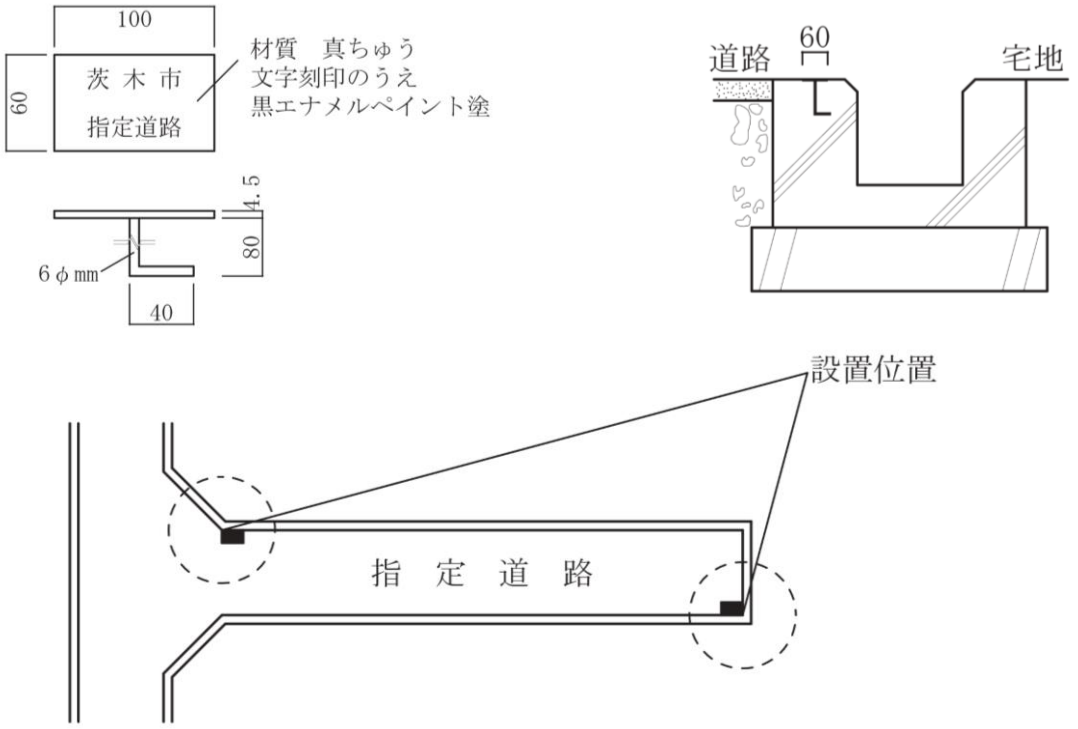
第10　指定道路には、通行の安全を確保するために必要とする防犯灯及び交通安全施設並びにごみ置場等を設置しなければならない。

（排水施設）

第11　指定道路及び宅地の排水については、周辺に溢水の起こらないよう排水施設を整備する等の措置を講じなければならない。

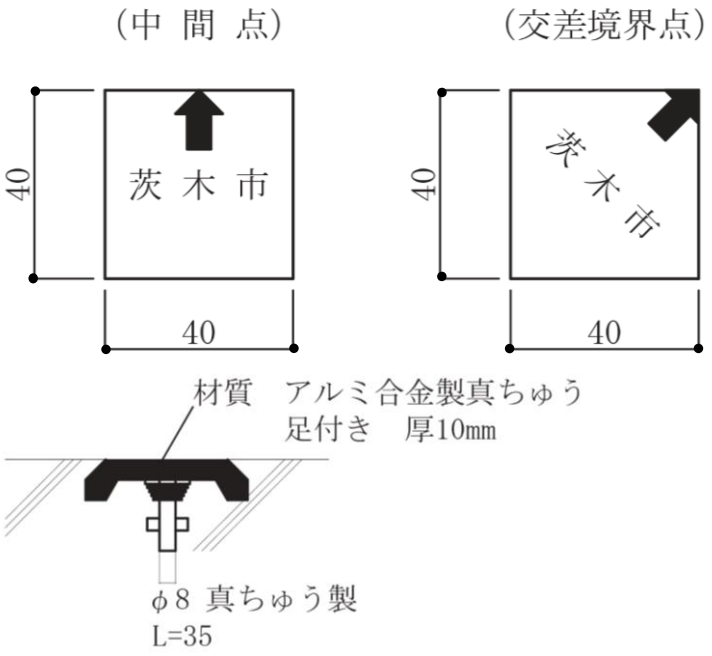
（標識の設置）

第12　茨木市建築基準法施行条例（平成12年茨木市条例第８号）第３条に定める標識は下図によるものとし、指定道路の起点及び終点付近に設置しなければならない。



（境界標の設置）

第13　市に移管する公共施設等については、下図による境界標を設置しなければならない。



附　則

この基準は、昭和58年３月１日から実施する。

附　則

この基準は、平成12年８月１日から実施する。

附　則

この基準は、平成16年４月１日から実施する。

附　則

この基準は、令和７年１月１日から実施する。